

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-086301
 (43)Date of publication of application : 31.03.1997

(51)Int.CI. B60R 13/01
 B60P 7/06
 B60R 5/04
 B60R 13/02

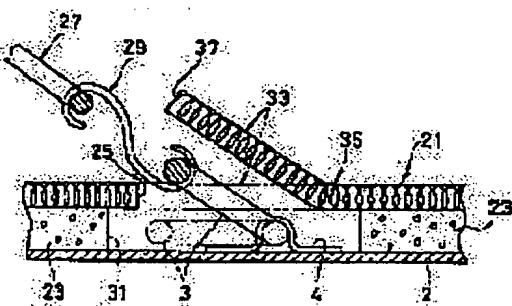
(21)Application number : 07-249725 (71)Applicant : NISSAN MOTOR CO LTD
 (22)Date of filing : 27.09.1995 (72)Inventor : FUKATSU YOSHIMI

(54) FLOOR TRIM IN LUGGAGE COMPARTMENT OF AUTOMOBILE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a luggage compartment floor trim enhancing the usability of a rope hook without any clearance on the surface of the floor trim member and enhancing an exterior appearance.

SOLUTION: A cut portion 25 at the extremity end of the trim member 21 is designed in 'U' shape so as to make a rope hook to rise and set easily. When the rope hook 3 is in a rising state, the free end 37 of a flap 33, formed by the cut portion 25 of the trim member 21, is made to rise together with the rope hook 3; while when the rope hook 3 is in a state of setting in the chamber, the free end 37 of a flap 33 is close contact with the cut portion 25 of the trim member 21 without any clearance.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 31.08.2000
 [Date of sending the examiner's decision of rejection]
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
 [Date of final disposal for application]
 [Patent number] 3254979
 [Date of registration] 30.11.2001
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 特許公報 (B2)

(11)特許番号

特許第3254979号

(P3254979)

(45)発行日 平成14年2月12日 (2002.2.12)

(24)登録日 平成13年11月30日 (2001.11.30)

(51)Int.Cl.*

B 60 R 13/01

B 60 P 7/06

B 60 R 5/04

13/02

識別記号

F I

B 60 R 13/01

B 60 P 7/06

B 60 R 5/04

13/02

Z

Z

Z

請求項の数5(全6頁)

(21)出願番号 特願平7-249725

(22)出願日 平成7年9月27日 (1995.9.27)

(65)公開番号 特開平9-86301

(43)公開日 平成9年3月31日 (1997.3.31)

審査請求日 平成12年8月31日 (2000.8.31)

(73)特許持者 000003997

日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(72)発明者 深津 △吉▽実

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日

産自動車株式会社内

(74)代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外8名)

審査官 島田 信一

(56)参考文献 特開 昭63-121545 (JP, A)

特開 平7-304403 (JP, A)

特開 昭58-36737 (JP, A)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】自動車用荷室フロアトリム

1

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】荷室フロア(2)の上面に載置され且つ該荷室フロア(2)に複数固定したロープフック(3)の配設位置と合致する位置に切欠部(25)を設けてなるトリム部材(21)を少なくとも備えてなる自動車用荷室フロアトリムにおいて、

前記トリム部材(21)の切欠部(25)は、前記ロープフック(3)が出没自在な形状に形成され、該ロープフック(3)が突出している状態では、前記トリム部材(21)の切欠部(25)によって形成された舌片(33)が基部(35)を中心自由端部(37)側が該ロープフック(3)と共に持ち上がり、

該ロープフック(3)が埋没している状態では、前記トリム部材(21)の切欠部(25)と前記舌片(33)の自由端部(37)との間には間隙が生じないよう密接

2

し、

前記トリム部材(21)の下部には、前記ロープフック(3)を収納可能な空間部(31)が形成された緩衝部(23)が配設されてなることを特徴とする自動車用荷室フロアトリム。

【請求項2】請求項1記載の自動車用荷室フロアトリムであって、

前記トリム部材(21)の切欠部(25)によって形成された舌片(33)は、前記ロープフック(3)より大きく形成してなることを特徴とする自動車用荷室フロアトリム。

【請求項3】請求項1及び請求項2何れか記載の自動車用荷室フロアトリムであって、

前記舌片(33)の自由端部(37)は、前記荷室フロア(2)の中央側(CR)では相互に向き合うように配

設され、前記荷室フロア（2）の後部側（RR）では自動車の後部（RR）を向くように配設されてなることを特徴とする自動車用荷室フロアトリム。

【請求項4】 請求項1乃至請求項3何れか記載の自動車用荷室フロアトリムであって、前記ロープフック（3）には、前記トリム部材（21）の上に載置される荷物を覆うことで支持可能な第1ネット（27a）の支持部材（29）が係合可能なることを特徴とする自動車用荷室フロアトリム。

【請求項5】 請求項1乃至請求項3何れか記載の自動車用荷室フロアトリムであって、前記ロープフック（3）には、前記荷室の壁に沿って配される第2ネット（27b）の支持部材（29）が係合可能なることを特徴とする自動車用荷室フロアトリム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、自動車用荷室フロアトリムに関する。

【0002】

【従来の技術】 自動車用荷室フロアトリムとしては、例えば図4乃至図6（特開昭63-121545号公報参照）に示すように、荷室1のフロア2の上面に載置されなるトリム部材7と、ラゲッジサイドトリム9と、バックドアに配設されたバックドアトリム（図示省略）とを備えてなる。

【0003】 前記荷室1のフロア2には、ブラケット4によって複数起伏自在に固定した閉ループ状のロープフック3が配設されてなる。

【0004】 前記トリム部材7には、前記ロープフック3の配設位置と合致する位置に切欠部5を設け、前記ロープフック3を図5に示すように、該切欠部5から露出させておけば、該トリム部材7上に載置した荷物（図示省略）をネット（図示省略）によって覆った後、該ネットの支持部材（図示省略）を前記ロープフック3に係止することで、該ネットが荷室1のフロア2に固定されることになる。

【0005】 また、ロープフック3を図6に示すように、前記トリム部材7の切欠部5の下側に入れ込んだ場合には、前記トリム部材7の面は平滑面となり、荷物の積み降ろし時に邪魔にならない。

【0006】 符号11は、リアシートバック13と、リアシートクッション15とよりなるリアシート、17は、サイドウインドパネル19の周囲を覆うサイドフィニッシャである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 然しながら、前記従来例によれば、図5に示すロープフック3の突出した状態から、図6に示すロープフック3の埋没させた状態にするためには、前記トリム部材7を一旦持ち上げて、切欠部5からロープフック3を抜き、しかる後に、前記トリ

ム部材7及びロープフック3を倒す必要があり、作業性の改善が望まれている。

【0008】 また、前記トリム部材7の面に形成された切欠部5は、図6に示すように、ロープフック3を出し入れするだけの大きさに形成されてなるので、フロア2の塗料面が直接目視できることで見栄えが悪く、車体色が前記トリム部材7の色と異なると益々見栄えが悪く、改善が望まれている。

【0009】 また、図5に示すように、ロープフック3を突出させたままにしておくと、荷物などが直接触れるので、傷を生じる恐れがある。また、該切欠部5にごみが溜まり易く、改善が望まれている。そこで、本発明は、ロープフックの出没性を向上し、ロープフックが出没してもトリム部材の面には隙間が生じず、見栄え等も向上した自動車用荷室フロアトリムを提供する。

【0010】

【課題を解決するための手段】 前記課題を解決するため、請求項1の発明は、荷室フロアの上面に載置され且つ該荷室フロアに複数固定したロープフックの配設位置と合致する位置に切欠部を設けてなるトリム部材を少なくとも備えてなる自動車用荷室フロアトリムにおいて、前記トリム部材の切欠部は、前記ロープフックが出没自在な形状に形成され、該ロープフックが突出している状態では、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片が基部を中心に自由端部側が該ロープフックと共に持ち上がり、該ロープフックが埋没している状態では、前記トリム部材の切欠部と前記舌片の自由端部との間に隙間が生じないよう密接し、前記トリム部材の下部には、前記ロープフックを収納可能な空間部が形成された緩衝部が配設されることを特徴とする。従って、前記トリム部材の切欠部がコの字状に形成されているので、前記ロープフックが出没し易く、ロープフックの出没作業性が向上する。また、前記ロープフックが収納された状態で、前記トリム部材は前記ロープフックと干渉しないので、盛り上がるなどの変形が前記トリム部材の面に生ぜず、見栄えが向上することになる。

【0011】 また、ロープフックが突出している状態でも、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片が基部を中心に自由端部側が該ロープフックと共に持ち上がりしているので、舌片だけを持ち上げる必要がなく、かかる作業性が向上する。

【0012】 また、ロープフックが埋没している状態でも、前記トリム部材の切欠部と前記舌片の自由端部との間に隙間が生じないよう密接してなるので、フロアが見えず、見栄えが向上するばかりか、ごみが溜まりにくうことになる。

【0013】 請求項2の発明は、請求項1記載の自動車用荷室フロアトリムであって、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片は、前記ロープフックより大きく形成してなることを特徴とする。従って、前記ロープ

フックは、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片によって確実に覆われ、荷物などが該ロープフックに干渉しても、前記トリム部材が介在して該ロープフックに直接干渉する訳ではないので、傷が荷物に生じる恐が少なくなる。

【0014】請求項3の発明は、請求項1及び請求項2何れか記載の自動車用荷室フロアトリムであって、前記舌片の自由端部は、前記荷室フロアの中央側では相互に向き合うように配設され、前記荷室フロアの後部側では自動車の後部を向くように配設されてなることを特徴とする。従って、前記荷室フロアの中央側に荷物を支持してなるときには、相互に向き合った開き方をする前記舌片の自由端部に案内されるロープフックが該舌片によって自動車の後部に立つ人には見えずらく、その分見栄えが向上する。

【0015】また、前記荷室フロアの後部側で前記舌片の自由端部が自動車の後部を向くので、ネットなどロープフックに係合させる作業が容易であり、その分作業性が向上する。

【0016】

【0017】請求項4の発明は、請求項1乃至請求項3何れか記載の自動車用荷室フロアトリムであって、前記ロープフックには、前記トリム部材の上に載置される荷物を覆うことで支持可能な第1ネットの支持部材が係合可能なることを特徴とする。従って、前記ロープフックに第1ネットの支持部材が係合されることで、前記トリム部材の上に載置される荷物を第1ネットで覆うことができることになる。

【0018】請求項5の発明は、請求項1乃至請求項3何れか記載の自動車用荷室フロアトリムであって、前記ロープフックには、前記荷室の壁に沿って配される第2ネットの支持部材が係合可能なることを特徴とする。従って、前記ロープフックに第2ネットの支持部材が係合されることで、前記荷室の壁に沿わせることができることになる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、この実施の形態を図面と共に説明する。図1乃至図3は、本発明の第1の実施形態に係る自動車用荷室フロアトリムを示している。図4乃至図6に示した従来例と同一部材は、同一符号を用いて説明する。

【0020】即ち、自動車用荷室フロアトリムは、荷室1のフロア2の上面に緩衝部としてのフェルト23を介在して載置されてなるトリム部材21と、サイドトリム9(図4参照)と、バックドアに配設されたバックドアトリム(図示省略)とを備えてなる。

【0021】前記荷室1のフロア2には、ブラケット4によって複数起伏自在に固定した閉ループ状のロープフック3が配設されてなる。

【0022】前記トリム部材21には、前記ロープフ

ク3の配設位置と合致する位置に切欠部25を設け、前記ロープフック3を図2に実線で示すように、該切欠部25から露出させておけば、該トリム部材21上に載置した荷物(図示省略)をネット27によって覆った後、該ネット27の支持部材としてのS字フック29を前記ロープフック3に係止することで、該ネット27が荷室1のフロア2に固定されることになる。

【0023】また、ロープフック3を図2に二点鎖線で示すように、前記トリム部材21の切欠部25の下側に入れ込んだ場合には、該ロープフック3が前記フェルト23に形成された空間部31に収納されるので、前記トリム部材21の面は、図2に二点鎖線で示すように、平滑面となり、前記トリム部材21の面上を移動する荷物の積み降ろし時に邪魔とならない。

【0024】前記トリム部材21の切欠部25は、前記ロープフック3が出没自在な図3に示すようなコの字状に形成され、該ロープフック3が図2に実線で示すように突出している状態では、前記トリム部材21の切欠部25によって形成された舌片33が基部35を中心に自由端部37側が該ロープフック3と共に持ち上がり、該ロープフック3が図2に二点鎖線で示すように埋没している状態では、前記トリム部材21の切欠部25と前記舌片33の自由端部37との間には間隙が生じないよう密接してなる。

【0025】前記トリム部材21の切欠部25によって形成された前記舌片33は、図3に示すように、前記ロープフック3の全幅寸法より大きく形成してなる。

【0026】前記舌片33の自由端部37は、図1に示すように、前記荷室1のフロア2の中央側CRでは、符号37aで示すように、相互に向き合うように配設されて、該フロア2の中央側CRの前記トリム部材21の上に載置される荷物(図示省略)を覆うことで支持可能な第1ネット27aの支持部材としてのS字フック29が係合可能なる向きを呈している。

【0027】また、前記舌片33の自由端部37は、図1に示すように、前記荷室1のフロア2の後部側RRでは、符号37bで示すように、自動車の後部RRを向くように配設されて、前記荷室1の壁としてのバックドア(図示省略)に沿って配される第2ネット27bの支持部材としてのS字フック29が係合可能なる向きを呈している。

【0028】以上のように、本発明の第1の実施形態の構成によれば、前記トリム部材21の切欠部25がコの字状に形成されているので、前記ロープフック3が出没し易く、ロープフック3の出没作業性が向上する。

【0029】また、図2に実線で示すように、ロープフック3が突出している状態でも、前記トリム部材21の切欠部25によって形成された舌片33が基部35を中心に自由端部37側が該ロープフック3と共に持ち上げておれば、舌片33だけを持ち上げる必要がなく、

かかる作業性が向上する。

【0030】また、ロープフック3が埋没している状態でも、前記トリム部材21の切欠部25と前記舌片33の自由端部37との間には間隙が生じないよう密接してなるので、フロア2が見えず、見栄えが向上するばかりか、ごみが溜まりにくくなる。

【0031】また、前記ロープフック3は、前記トリム部材21の切欠部25によって形成された舌片33によって確実に覆われ、荷物などが該ロープフック3に干渉しても、前記トリム部材21が介在して該ロープフック3に直接干渉する訳ではないので、傷が荷物に生じる恐が少なくなる。

【0032】また、前記荷室1のフロア2の中央側CRに荷物を支持してなるときには、相互に向き合った開き方をする前記舌片33の自由端部37aに案内されるロープフック3が、自動車の後部に立つ人には該舌片33によって見えずらく、その分見栄えが向上する。

【0033】また、前記荷室1のフロア2の後部側RRで前記舌片33の自由端部37bが自動車の後部RRを向くので、ネット27bのフック29などロープフック3に係合させる作業が容易であり、その分作業性が向上する。

【0034】また、前記ロープフック3が収納された状態で、前記トリム部材21は前記ロープフック3と干渉しない位置に移動されるので、盛り上がるなどの変形が前記トリム部材21の面に生ぜず、見栄えが向上することになる。

【0035】また、前記ロープフック3に第1ネット27aのフック29が係合されることで、前記トリム部材21の上に載置される荷物を第1ネット27aで覆うことができることになる。

【0036】また、前記ロープフック3に第2ネット27bのフック29が係合されることで、前記荷室1のバックドア(図示省略)に沿わせることができるうことになる。

【0037】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、請求項1の発明によれば、荷室フロアの上面に載置され且つ該荷室フロアに複数固定したロープフックの配設位置と合致する位置に切欠部を設けてなるトリム部材を少なくとも備えてなる自動車用荷室フロアトリムにおいて、前記トリム部材の切欠部は、前記ロープフックが出没自在なコの字状に形成され、該ロープフックが突出している状態では、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片が基部を中心に自由端部側が該ロープフックと共に持ち上がり、該ロープフックが埋没している状態では、前記トリム部材の切欠部と前記舌片の自由端部との間には間隙が生じないよう密接してなることを特徴とするので、前記トリム部材の切欠部がコの字状に形成され、前記ロープフックが出没し易く、ロープフックの出没性を向上

性が向上する。また、前記ロープフックが収納された状態で、前記トリム部材は前記ロープフックと干渉しないので、盛り上がるなどの変形が前記トリム部材の面に生ぜず、見栄えが向上することになる。

【0038】また、ロープフックが突出している状態でも、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片が基部を中心に自由端部側が該ロープフックと共に持ち上がっているので、舌片だけを持ち上げる必要がなく、かかる作業性が向上する。

10 【0039】また、ロープフックが埋没している状態でも、前記トリム部材の切欠部と前記舌片の自由端部との間には間隙が生じないよう密接してなるので、フロアが見えず、見栄えが向上するばかりか、ごみが溜まりにくくなる。

【0040】請求項2の発明によれば、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片は、前記ロープフックより大きく形成してなることを特徴とするので、請求項1記載の効果に加え、前記ロープフックは、前記トリム部材の切欠部によって形成された舌片によって確実に覆われ、荷物などが該ロープフックに干渉しても、前記トリム部材が介在して該ロープフックに直接干渉する訳ではないので、傷が荷物に生じる恐が少なくなる。

【0041】請求項3の発明によれば、前記舌片の自由端部は、前記荷室フロアの中央側では相互に向き合うように配設され、前記荷室フロアの後部側では自動車の後部を向くように配設されてなることを特徴とするので、請求項1及び請求項2何れか記載の効果に加え、前記荷室フロアの中央側に荷物を支持してなるときには、相互に向き合った開き方をする前記舌片の自由端部に案内されるロープフックが該舌片によって自動車の後部に立つ人には見えずらく、その分見栄えが向上する。

【0042】また、前記荷室フロアの後部側で前記舌片の自由端部が自動車の後部を向くので、ネットなどロープフックに係合させる作業が容易であり、その分作業性が向上する。

【0043】

【0044】請求項4の発明によれば、前記ロープフックには、前記トリム部材の上に載置される荷物を覆うことで支持可能な第1ネットの支持部材が係合可能なることを特徴とするので、請求項1乃至請求項3何れか記載の効果に加え、前記ロープフックに第1ネットの支持部材が係合されることで、前記トリム部材の上に載置される荷物を第1ネットで覆うことができることになる。

【0045】請求項5の発明によれば、前記ロープフックには、前記荷室の壁に沿って配される第2ネットの支持部材が係合可能なることを特徴とするので、請求項1乃至請求項3何れか記載の効果に加え、前記ロープフックに第2ネットの支持部材が係合されることで、前記荷室の壁に沿わせることができることになる。

50 【0046】以上より、ロープフックの出没性を向上

し、ロープフックが出没してもトリム部材の面には隙間が生じず、見栄え等も向上した自動車用荷室フロアトリムである。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1の実施形態にかかる自動車用荷室フロアトリムの斜視説明図である。

【図2】図1のA-A線断面拡大説明図である。

【図3】図2の舌片33が切欠部25を閉じた状態での平面説明図である。

【図4】従来例の自動車の荷室の斜視説明図である。

【図5】図4のB部の拡大説明図である。

【図6】図5のロープフック3が切欠部5内に収納した状態での平面説明図である。

【符号の説明】

1 荷室

2 荷室のフロア

* 3 ロープフック

4 ブラケット

21 トリム部材

23 緩衝部としてのフェルト

25 トリム部材の切欠部

27 ネット

27a 第1ネット

27b 第2ネット

29 支持部材としてのS字フック

10 31 空間部

33 舌片

35 舌片の基部

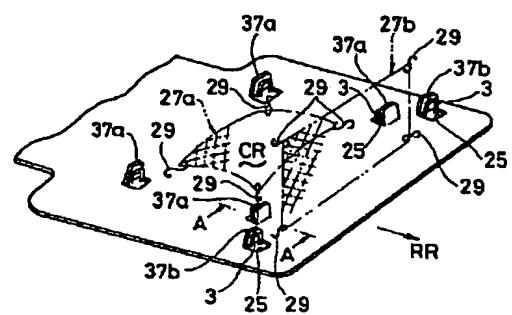
37 舌片の自由端部

37a 相互に向き合う舌片の自由端部

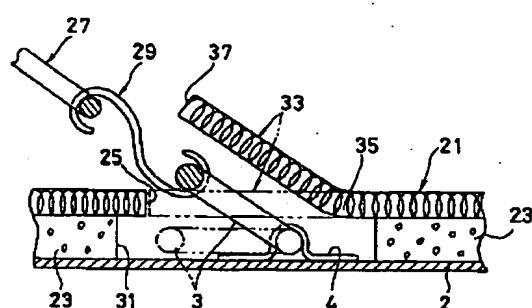
37b 自動車の後部RRを向く舌片の自由端部

*

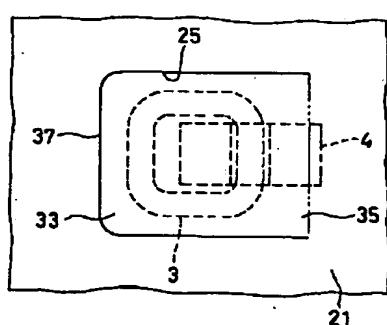
【図1】



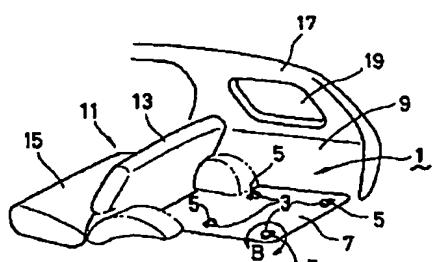
【図2】



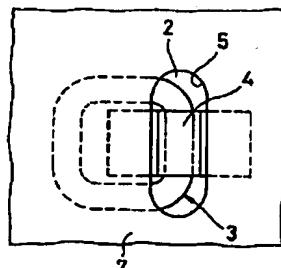
【図3】



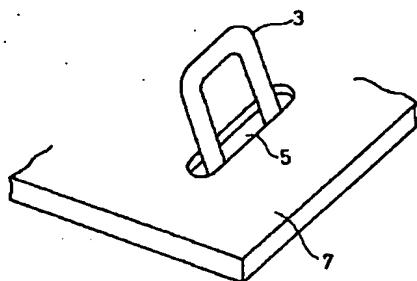
【図4】



【図6】



【図5】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B60R 13/01

B60P 7/06

B60R 5/04

B60R 13/02